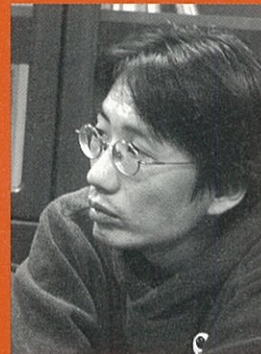


2008年秋 カジノ経済が破綻し、
アメリカ発の「金融危機」が世界を震撼させた。
保身をはかる大企業各社は、
競争するかのよう労働者を切り捨てた。
市役所も閉まり、仕事もなくなった年末、
住む場所すら追われた労働者を支援しようと取り組まれた派遣村。
生きることを求め、派遣村に辿りつくことができた500人が、
国を、自治体を動かした。

日本が揺らいだ 2009年 冬 派遣村

「二度と派遣村を開設しないためにも、
すべての生活困窮者に、最低生活の実現に向けた
切れ目のないセーフティーネット(安全網)の構築が必要だ」



年越し派遣村
「村長」

湯浅 誠

(ゆあさ まこと)1969年生まれ
評論家・NPO法人自立生活サポートセンターもやい事務局長。
東京都小平市出身。21世紀初頭に顕在化した日本国の貧困問題
にとりくみ、活発に発言を続けている。

湯浅 誠 講演

2月20日(金)

午後18時半～(開場18時)

サンスクエア堺 B棟ホール (定員 400人)

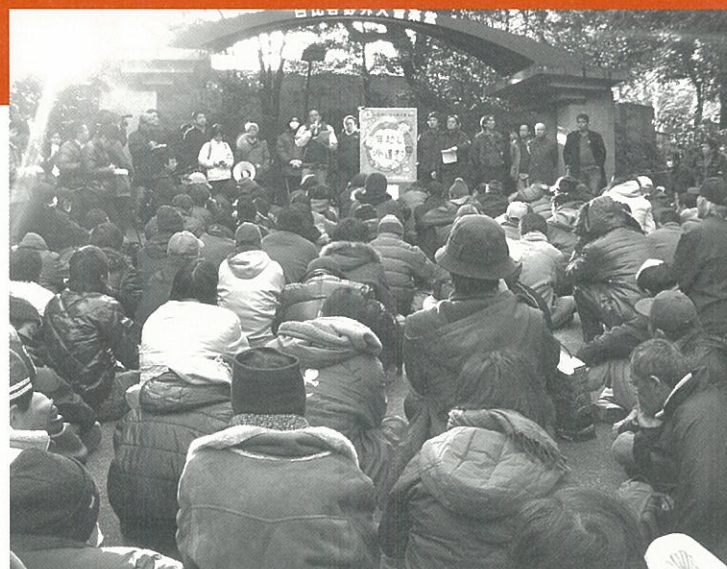
講演を中継する第2会場として同会場の第一会議室
(108名定員)も用意しています。定員を超えますと
入場をお断りいたしますので、ご了承下さい。

入場
無料

大阪労連堺労働組合総連合(堺労連)

〒590-0074 堺市堺区北花田口町 3-1-15 東洋ビル 3F

TEL 072-221-8384 / FAX 072-222-7399 E-mail sakairou@lapis.plala.or.jp



日比谷公園の年越し派遣村 (撮影: 中島 聡)

